2026年10月14日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,522万kW
10時30分、105,215 MW（10エリア同時刻合計）

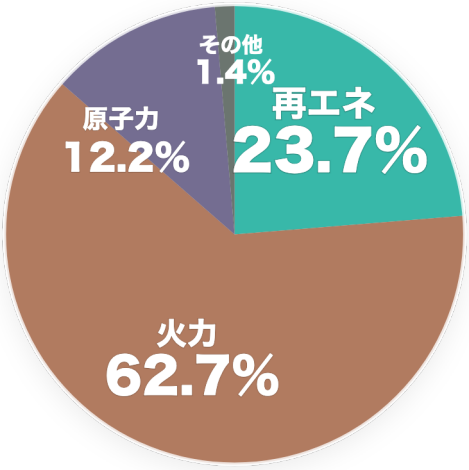
☀ 太陽光ピーク
3,054万kW
13時、30,541 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
375万kW
15時、3,750 MW

◇ 再エネ最大需要比
42.6%
12時30分、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
70.8 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
58.2 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 45.2%

35.7 GWh

出力抑制量

1.8 GWh

最大: 中国 1.1 GWh

揚水・蓄電の充電

35.3 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、15:30に3,417万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで45.2%でした。
- 出力抑制は中国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**23.7%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**519 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,190 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**42.6%**	12時30分
出力抑制量	**1.8 GWh**	最大: 中国
揚水・蓄電の充電	**35.3 GWh**	発電構成比には含めない

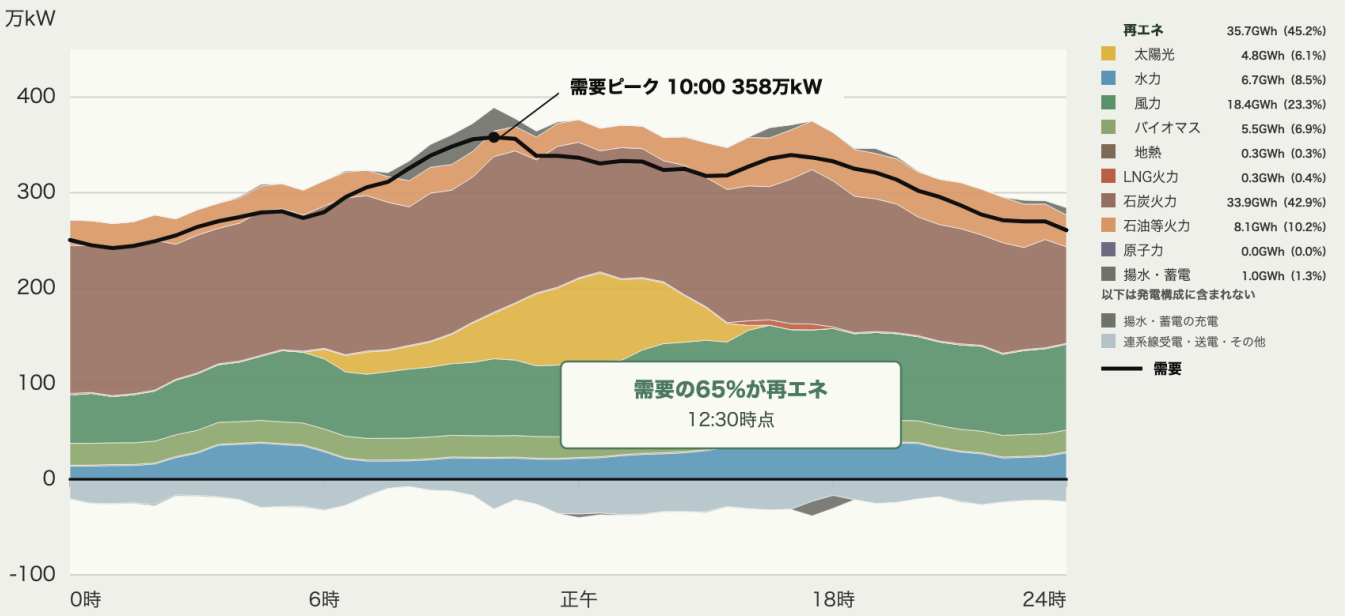
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**45.2%**	**35.7**	**0.0**	**送電 6.0**
東北	**35.7%**	**91.2**	**0.0**	**送電 58.2**
東京	**13.9%**	**86.7**	**0.0**	**受電 70.8**
中部	**25.1%**	**73.4**	**0.0**	**受電 62.2**
北陸	**25.5%**	**19.1**	**0.0**	**送電 6.6**
関西	**18.2%**	**60.7**	**0.0**	**受電 26.7**
中国	**23.0%**	**40.0**	**1.1**	**送電 25.5**
四国	**30.8%**	**27.5**	**0.0**	**送電 26.3**
九州	**33.8%**	**81.7**	**0.7**	**送電 19.6**
沖縄	**11.6%**	**2.9**	**0.0**	—

2026年10月14日の供給実績

北海道エリア

再エネ
35.7GWh
（発電電力量ベース45.2%）

北海道エリア 2026年10月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
79.0GWh

需要ピーク
10:00、358万kW

連系線・その他
6.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

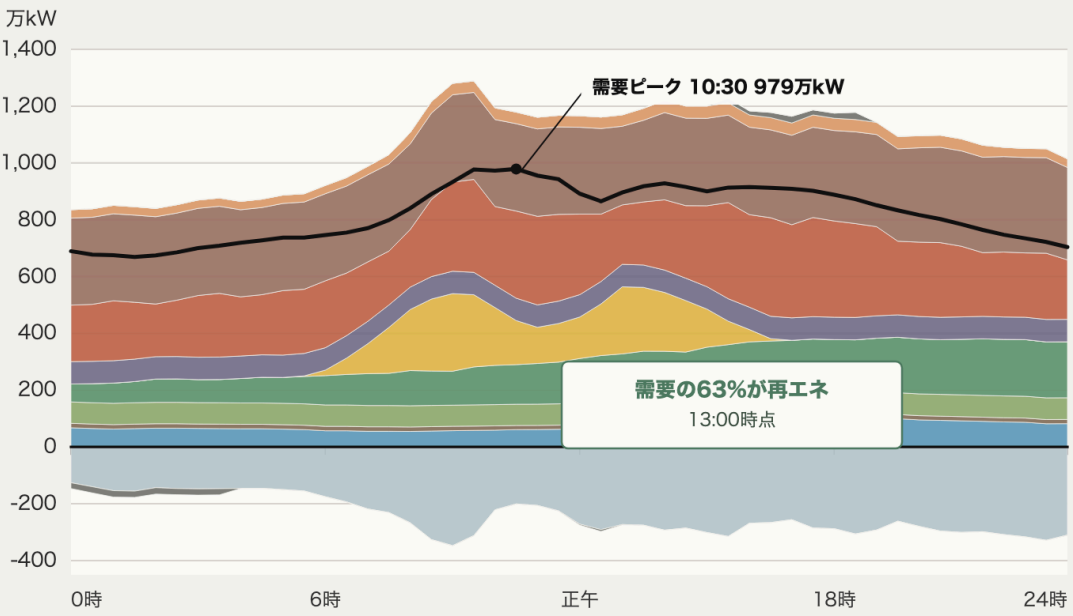
北海道は、太陽光ピーク93万kW、風力ピーク92万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.4%だった。

2026年10月14日の供給実績

東北エリア

再エネ
91.2GWh
（発電電力量ベース35.7%）

東北エリア 2026年10月14日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 256GWh
（2,558万kWh）

再エネ	91.2GWh (35.7%)
太陽光	17.1GWh (6.7%)
水力	17.8GWh (7.0%)
風力	34.7GWh (13.5%)
バイオマス	18.1GWh (7.1%)
地熱	3.6GWh (1.4%)
LNG火力	61.2GWh (23.9%)
石炭火力	74.9GWh (29.3%)
石油等火力	8.9GWh (3.5%)
原子力	18.9GWh (7.4%)
揚水・蓄電	0.7GWh (0.3%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
255.8GWh

需要ピーク
10:30、979万kW

連系線・その他
58.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

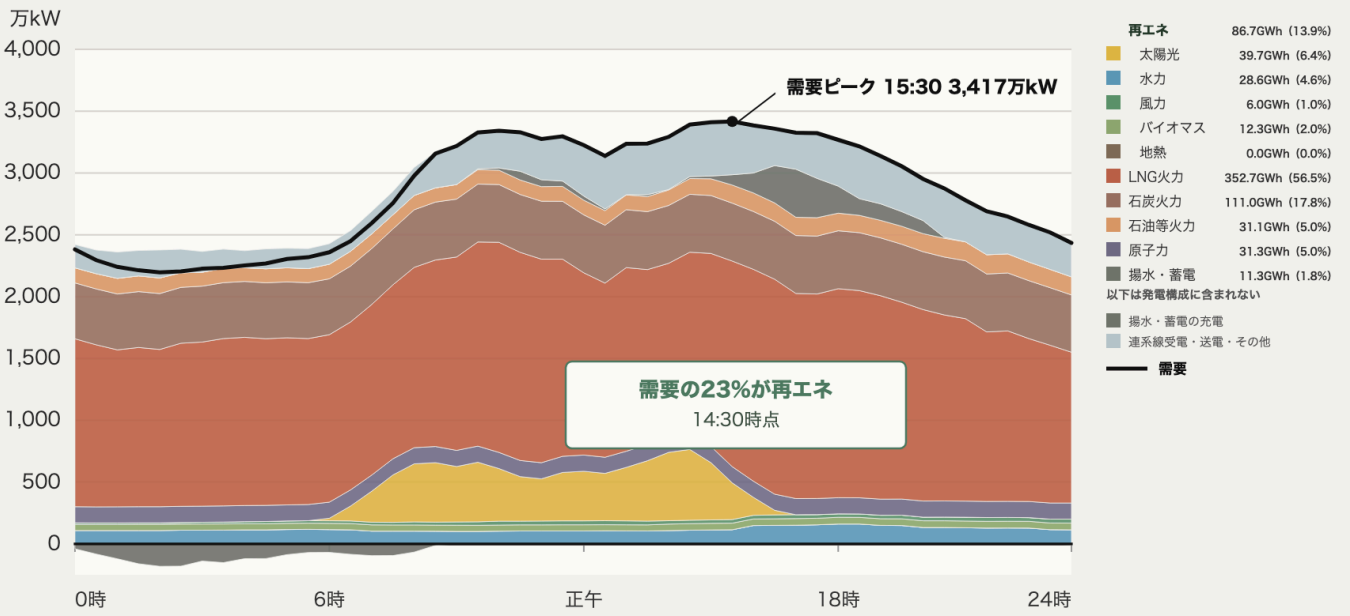
東北は、太陽光ピーク273万kW、風力ピーク199万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.9%だった。

2026年10月14日の供給実績

東京エリア

再エネ
86.7GWh
（発電電力量ベース13.9%）

東京エリア 2026年10月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
624.1GWh

需要ピーク
15:30、3,417万kW

連系線・その他
70.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
9.4GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

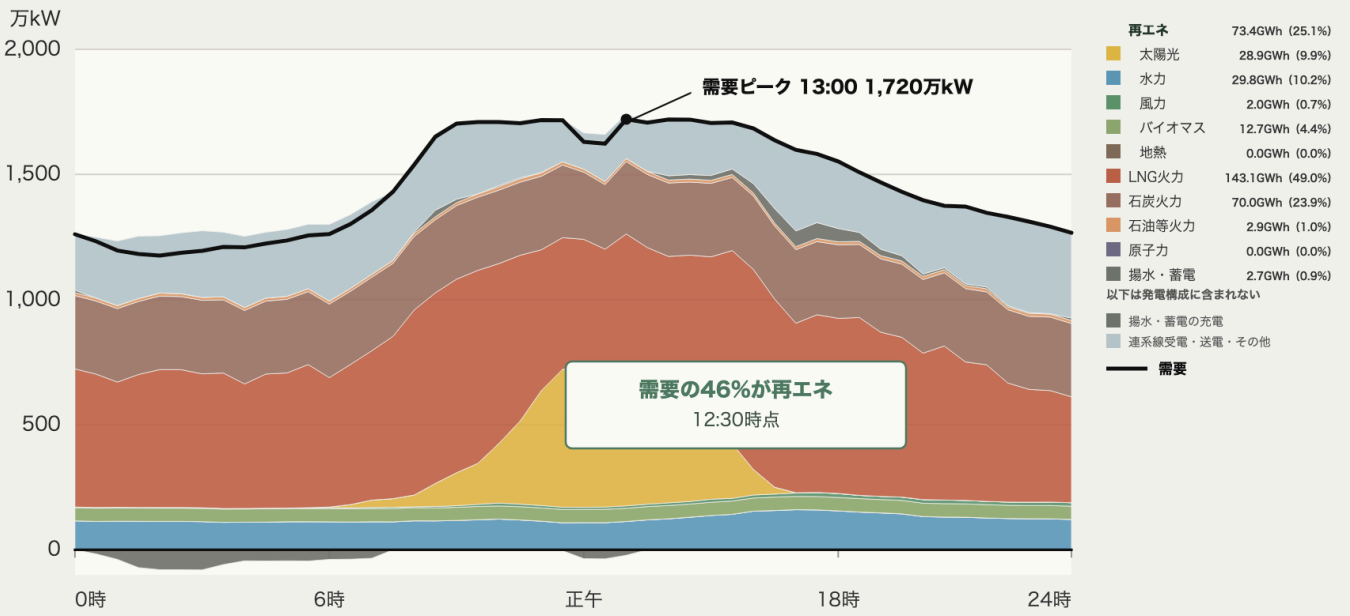
東京は、太陽光ピーク572万kW、風力ピーク32万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.5%だった。

2026年10月14日の供給実績

中部エリア

再エネ
73.4GWh
（発電電力量ベース25.1%）

中部エリア 2026年10月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
292.1GWh

需要ピーク
13:00、1,720万kW

連系線・その他
62.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電
4.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

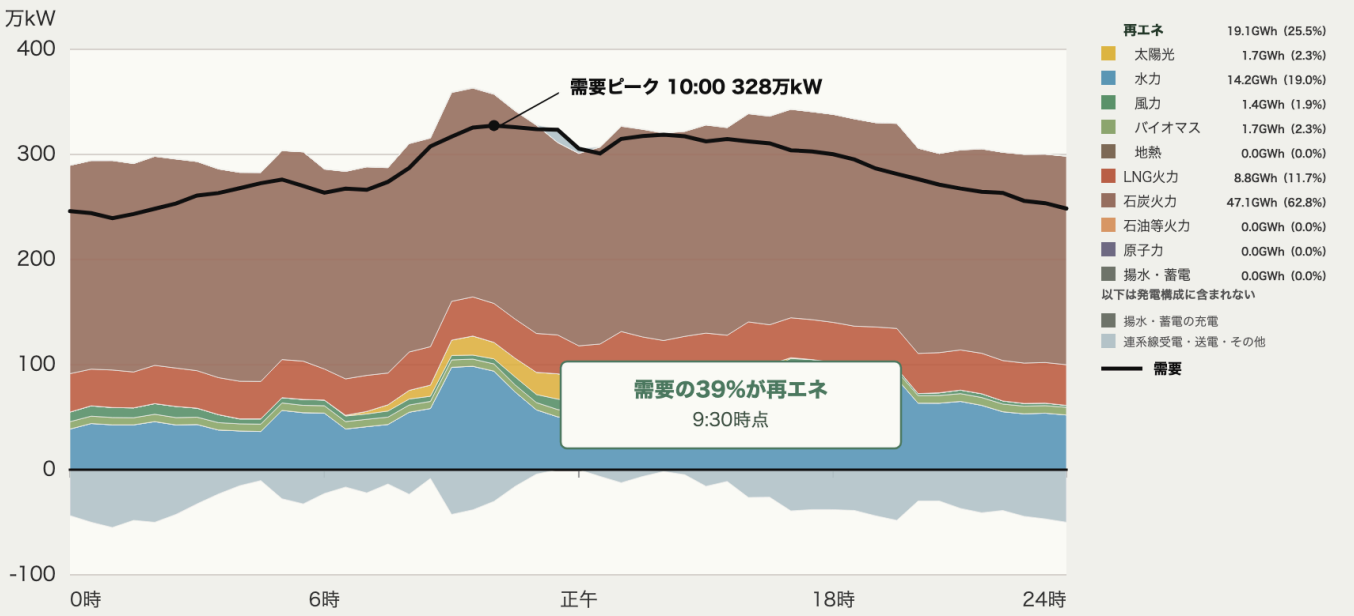
中部は、太陽光ピーク570万kW、風力ピーク16万kWで、時間別の再エネ最大需要比は45.7%だった。

2026年10月14日の供給実績

北陸エリア

再エネ
19.1GWh
（発電電力量ベース25.5%）

北陸エリア 2026年10月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
75.1GWh

需要ピーク
10:00、328万kW

連系線・その他
6.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

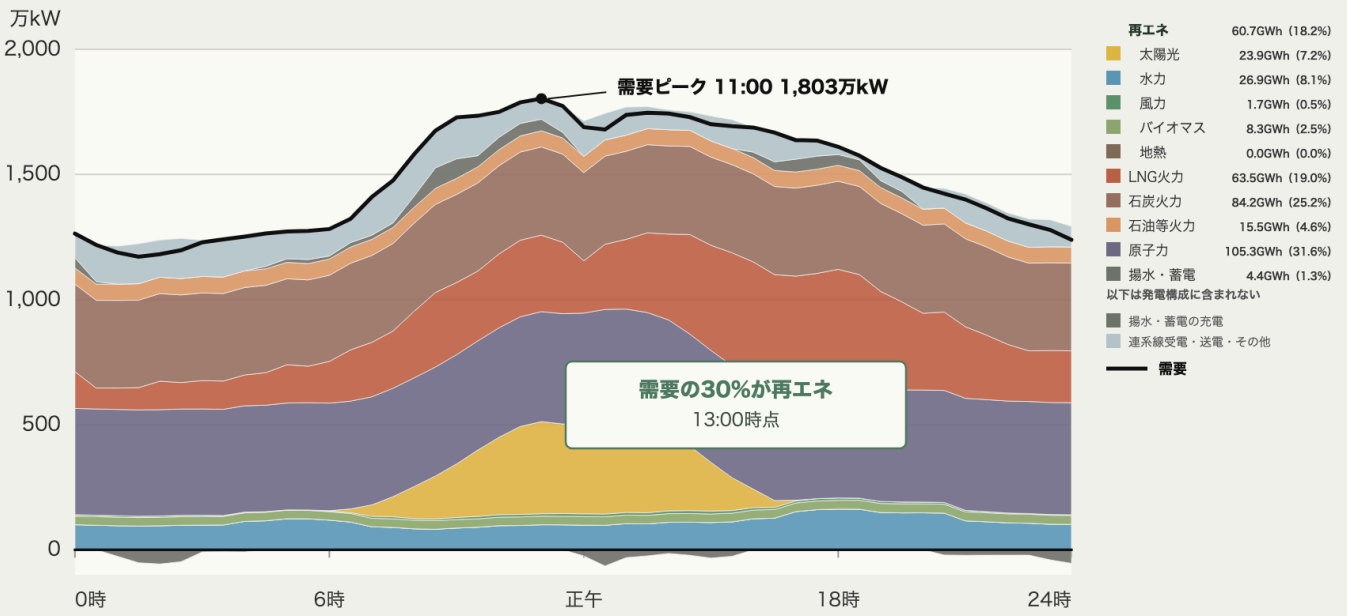
北陸は、太陽光ピーク33万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は39.1%だった。

2026年10月14日の供給実績

関西エリア

再エネ
60.7GWh
（発電電力量ベース18.2%）

関西エリア 2026年10月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
333.6GWh

需要ピーク
11:00、1,803万kW

連系線・その他
26.7GWhの受電

揚水・蓄電の充電
3.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

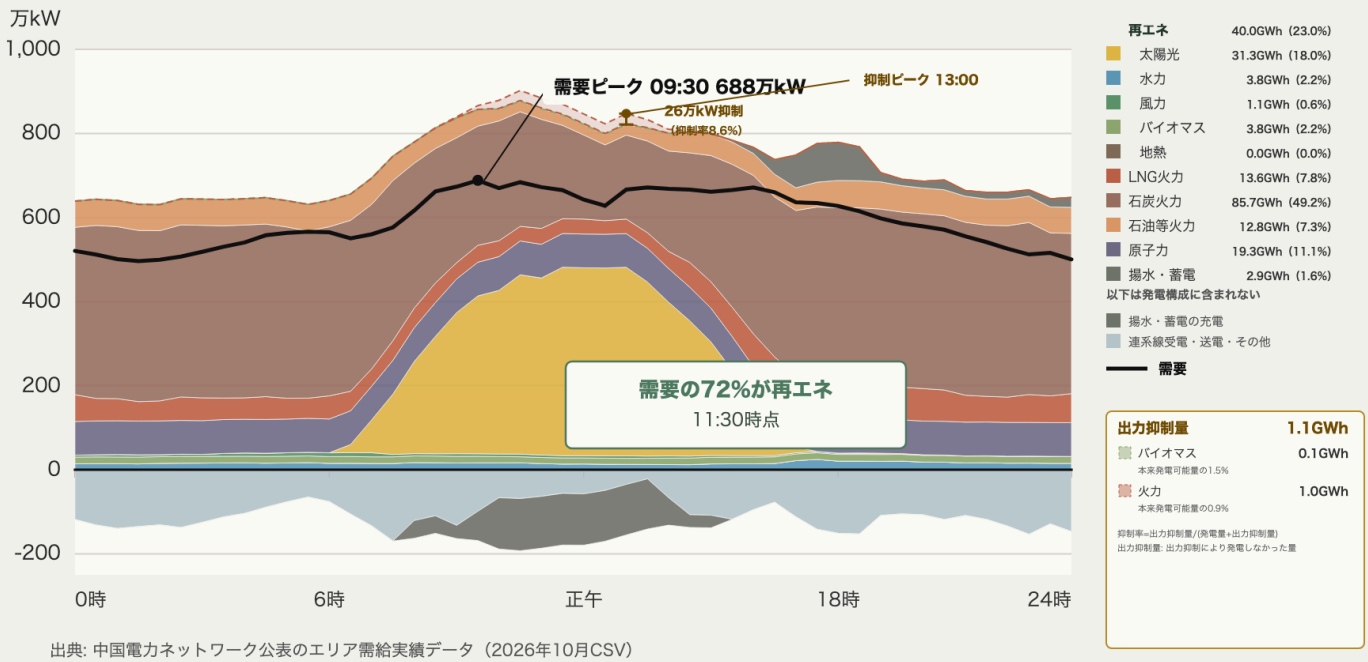
関西は、太陽光ピーク375万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は30.8%だった。

2026年10月14日の供給実績

中国エリア

再エネ
40.0GWh
（発電電力量ベース23.0%）

中国エリア 2026年10月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
174.3GWh

需要ピーク
09:30、688万kW

連系線・その他
25.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電
6.4GWh

出力抑制
1.1GWh

概況

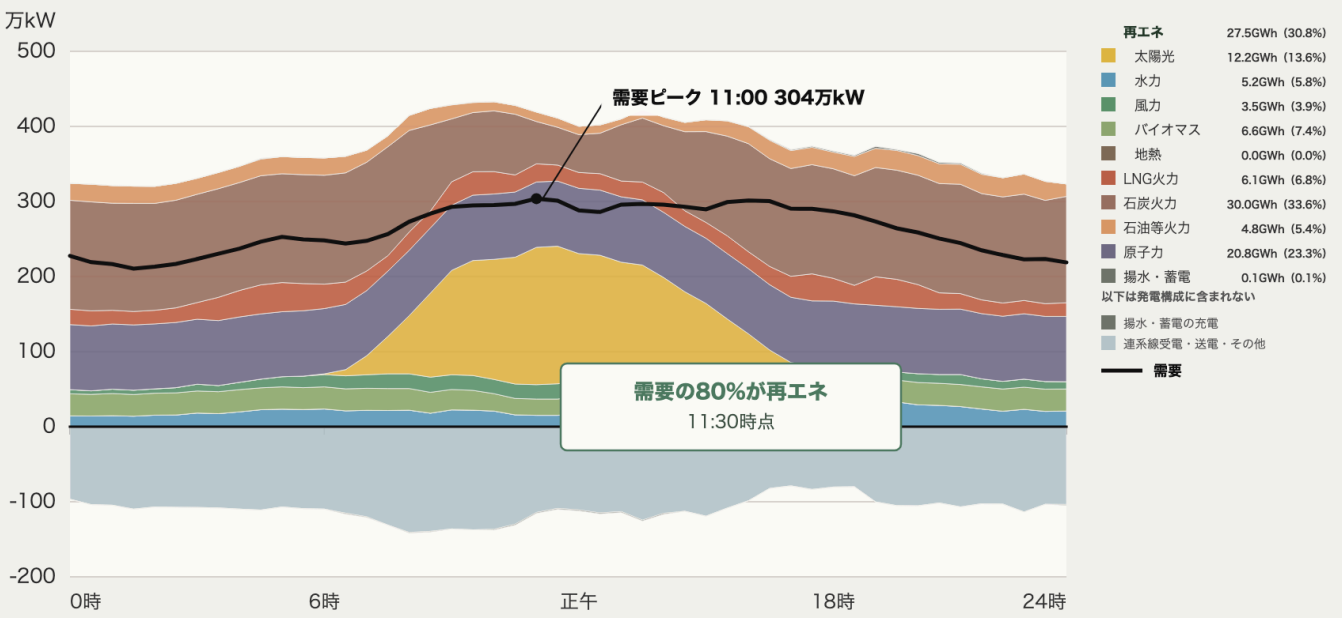
中国は、太陽光ピーク449万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は76.4%だった。

2026年10月14日の供給実績

四国エリア

再エネ
27.5GWh
（発電電力量ベース30.8%）

四国エリア 2026年10月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
89.4GWh

需要ピーク
11:00、304万kW

連系線・その他
26.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

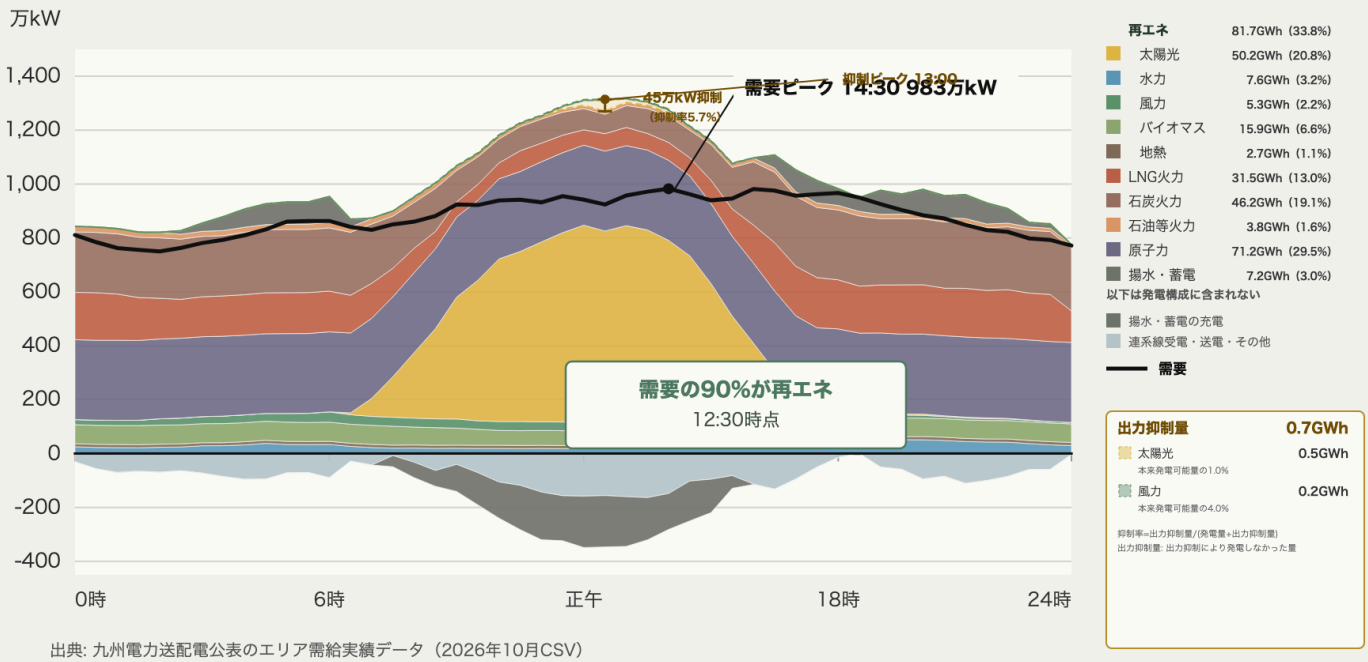
四国は、太陽光ピーク183万kW、風力ピーク20万kWで、時間別の再エネ最大需要比は80.0%だった。

2026年10月14日の供給実績

九州エリア

再エネ
81.7GWh
（発電電力量ベース33.8%）

九州エリア 2026年10月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
241.6GWh

需要ピーク
14:30、983万kW

連系線・その他
19.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
11.0GWh

出力抑制
0.7GWh

概況

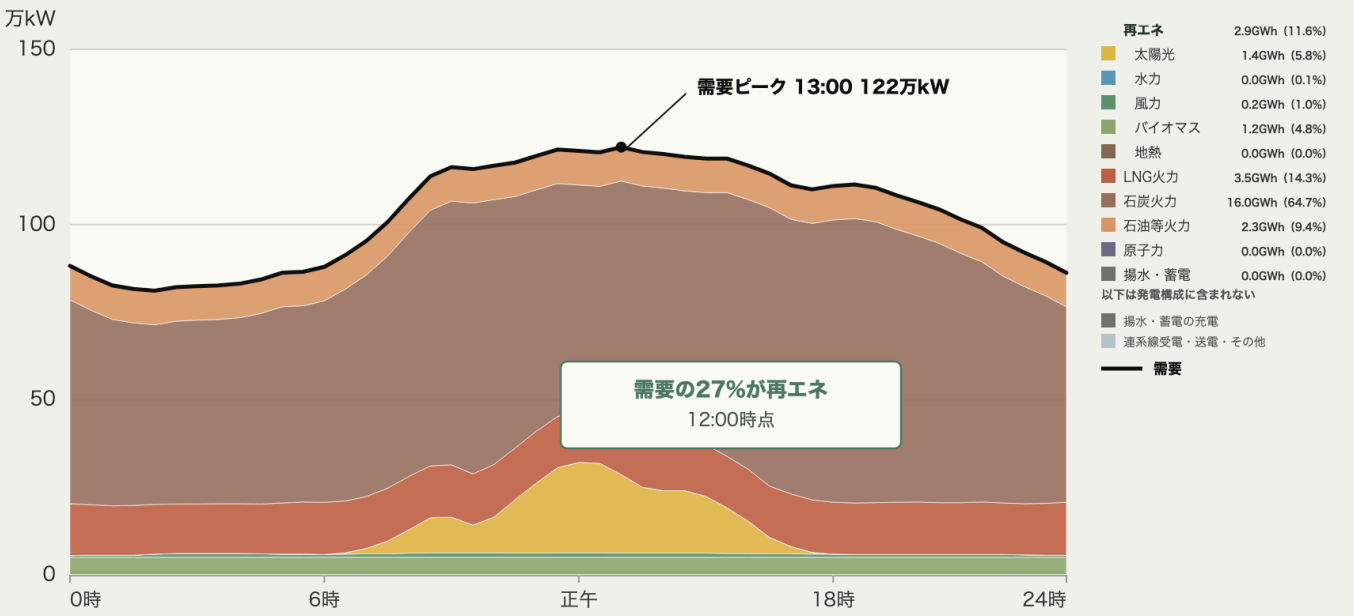
九州は、太陽光ピーク735万kW、風力ピーク38万kWで、時間別の再エネ最大需要比は90.0%だった。

2026年10月14日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.9GWh
（発電電力量ベース11.6%）

沖縄エリア 2026年10月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
24.7GWh

需要ピーク
13:00、122万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク26万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は26.5%だった。